



イメージキャラクター「くりりん」

かしこく なかよく げんきよく

# 葛葉だより

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/kuzumaki/>

E-mail [mitsuke.kuzumaki-es@edu-niigata.ed.jp](mailto:mitsuke.kuzumaki-es@edu-niigata.ed.jp)



令和7年10月17(金)  
見附市立葛巻小学校だより

Tel 0258-62-0689

Fax 0258-63-5017

No.3 7 7



3年生 よさこい練習



5年生 稲刈り



## 実りと収穫の季節

校長 白井 敦

秋の彼岸を過ぎ、ようやく暑さが和らぎ秋の青空が広がる季節となりました。赤とんぼが気持ちよさそうに宙を舞っています。

学校では、市内親善陸上大会など9月の行事が無事に終わり、順調に教育活動が進んでいます。それぞれの活動で子どもたちの笑顔と頑張る姿が見られ、達成感を得られているんだろうと評価しています。10月と11月は子どもと教師が成長を実感する時期。学習、運動、趣味など様々な分野でこれまでの成果が見えてきます。その一端を、11月16日の「くずはフェスティバル」で皆様にご紹介いたします。子どもたちがいきいきと笑顔で発表する姿をお楽しみください。

学力面成果は、6年生を対象に4月に実施された「全国学力・学習状況調査」結果から、当校の実態を読み解くことができます。今年度実施された「国語」「算数」「理科」の3教科の正答率は、算数が全国平均をやや下回ったものの、国語と理科は全国平均をやや上回りました。日頃から子どもたちがきちんと学んでいることが分かります。特に国語の「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方」、理科の「エネルギー」と「生命」の分野で成果が見られました。

一方、課題も見えてきました。それは自分の考えをまとめたり、表現したりする分野です。なぜそうなるのか、どうしてそう考えたのかをまとめたり表現したりする力に課題があります。併せて、自分と違う意見について考えることも少し苦手になっている傾向も見えてきました。これらの課題解決には、日々の授業改善が必須です。意見や考えを書かせるだけでなく、子どもにとって必然性のある意見交流や相手がなぜそう考えたのかを考えさせる場面を意図的に設定し、友達の意見を共感的にとらえさせる場面が大切だと考えています。

今後生成AIの活用が当たり前の時代になると、自ら考えたり作文したりしなくてもよいことになるでしょう。でも考えて悩むことは確実に自分の肥しになります。子どもたちには達成感や充実感という「実り」を味わわせながら、未来を切り開いていける力を身に付けさせたいと考えています。